取扱説明書

このたびは、電球交換器「トッカールエース」をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

◆ ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
◆ 本取扱説明書は内容をご確認後、大切に保管しご活用ください。

⚠警　告

- 蛍光灯の交換作業は必ず電源を切り、蛍光灯が冷えてから行ってください。蛍光灯の熱でヘッド樹脂やゴムを損傷させたり、感電や漏電事故の原因となります。
- 蛍光灯の交換作業は必ず手袋・保護眼鏡・ヘルメットを着用し周囲に人がいない事を確認してから行ってください。蛍光灯やその破損片が落下する場合があります。
- ポールは垂直で使用し、引き伸ばしたまま横倒しはしないでください。

⚠注　意

- ランプの取付けは、ソケットの角度に対し垂直に確実に差込んでください。差込みが不完全な場合は、振動などでランプが落下したり、電気的な接触不良を起こすなど事故の原因となります。
- 交換するランプの種類、大きさに適合したホルダを使用してください。不適合のホルダを使用しますと、ランプ及びホルダの破損事故の原因となります。
- ポールを回転させた時、ソケットも回転した場合は直ちに作業を中止してください。電線間ショートの恐れがあります。

ご使用上の注意

- 器具の構造(チェーン吊り、ランプ傾斜型ダウンライト、差込み式口金)によっては交換できない器具もあります。
- ポールを床面に立て１段目より順次引き延ばして長さを調整してください。ポール接合部にある白線を目安に回しながら止まるまで引き出して確実に固定してください。（接合部上段側に絶縁テープ等を巻き付けると更に確実に固定されます）
- ポールにホルダを取り付ける際はベースのロックピンがホルダに確実に収まって固定されたことを確認してください。
- ポールを収納する際は接合部を境に１０ｃｍ程度上下の位置を手で握り、双方に回しながら固定を解きます。緩みましたら、ゆっくり上段を下げて収納してください。一度に下げると自重が加わり次々とポールが落下する可能性がありますのでご注意ください。
- 気温が－１０℃以下の環境では使用しないでください。
- 保管に際しては直射日光、高温多湿を避けてください。交換器各部品の劣化により寿命を短くする原因となります。

コンパクト形・電球形蛍光灯用交換器

2009.12現在

ランプ＼メーカー		Panasonic		東芝		日立		NEC		Mitsubishi	
型式	品番／口金	ランプ径	ホルダ型式	ランプ径	ホルダ型式	ランプ径	ホルダ型式	ランプ径	ホルダ型式	ランプ径	ホルダ型式
EFA	8/E26	φ60	A60	φ60	A60	φ55	A60			φ60	A60
	9/E17					φ55	A60				
	9/E26					φ55	A60				
	10/E17	φ50	B47	φ50	B47	φ50	B47				
	10/E26	φ50	B47	φ55	A60	φ55	A60	φ56	A60	φ55	A60
	12/E26			φ60	A60					φ60	A60
	13/E26	φ60	A60			φ55	A60	φ60	A60		
	15/E17	φ55	A60	φ55	EFA55						
	15/E26	φ55	A60	φ65	A60	φ55	A60	φ55	A60	φ60/φ55	A60
	18/E26			φ60	EFA55						
	22/E26	φ65	EFA70	φ65	EFA70	φ65	EFA70	φ65	EFA70	φ65	EFA70
	25/E26	φ60	A60			φ65	EFA70	φ65	EFA70	φ65	EFA70
EFG	8～25	φ90	B95	φ90	B95	φ90	B95	φ90	B95	φ90	B95
EFR	12			φ80	VP80R						
	15	φ75	EFR75					φ75	EFR75		
	25	φ90	EFR90	φ90	EFR90						
EFD	9/E17					φ34/6本柱	EFD-6				
	10/E17	スパイラルφ33	EFD-s33								
		スパイラルφ35	EFD-s35	φ36/6本柱	EFD-6	φ34/6本柱	EFD-6	スパイラルφ33	EFD-s33	φ35/6本柱	EFD-6
	10/E26	スパイラルφ35	EFD-s35					スパイラルφ39	EFD-s40	φ35/6本柱	EFD-6
	12/E17					φ34/6本柱	EFD-6				
	12/E26			φ36/6本柱	EFD-6	φ34/6本柱	EFD-6	φ34/6本柱	EFD-6	φ41/6本柱	FHT-5
	15/E17	スパイラルφ33	EFD-s33								
		スパイラルφ35	EFD-s35	φ36/6本柱	EFD-6	φ34/6本柱	EFD-6			φ35/6本柱	EFD-6
	15/E26	スパイラルφ33	EFD-s33							スパイラルφ50	SP-50
		スパイラルφ35	EFD-s35	φ36/6本柱	EFD-6	φ34/6本柱	EFD-6	スパイラルφ39	EFD-s40	φ35/6本柱	EFD-6
	18/E26									φ41/6本柱	FHT-5
	21/E26			φ42/8本柱	EFD-8	φ42/8本柱	EFD-8	φ44/8本柱	EFD-8	φ41/6本柱	FHT-5
	22/E26	φ44/8本柱	EFD-8								
	23/E26			φ42/8本柱	EFD-8						
	25/E26	スパイラルφ41	EFD-s40			φ42/8本柱	EFD-8	φ42/8本柱	EFD-8	φ46/8本柱	EFD-8
FDL	9	φ43/4本柱	FDL-4	φ43/4本柱	FDL-4					φ43/4本柱	FDL-4
	13	φ43/4本柱	FDL-4	φ45/4本柱	FDL-T	φ43/4本柱	FDL-4	φ43/4本柱	FDL-4	φ43/4本柱	FDL-4
	18	φ43/4本柱	FDL-4	φ45/4本柱	FDL-T	φ43/4本柱	FDL-4	φ43/4本柱	FDL-4	φ43/4本柱	FDL-4
	27	φ43/4本柱	FDL-4	φ45/4本柱	FDL-T	φ43/4本柱	FDL-4	φ43/4本柱	FDL-4	φ43/4本柱	FDL-4
FHT	16~57	φ41/6本柱	FHT-5	φ41/6本柱	FHT-5	φ41/6本柱	FHT-5	φ41/6本柱	FHT-5	φ41/6本柱	FHT-5
FHH	62,82	φ62/8本柱	Tw-4								
FHSD	11,15,20	スパイラルφ48	FDS48								

FHT

FHH

FHSD

1. コンパクト形蛍光灯、電球形蛍光灯は各メーカーで寸法、形状がそれぞれなので表のメーカーと型式でホルダを選定します。

2. スパイラル形はスリップ傾向にあるので下方より押し上げ気味で使用ください。

3. 柱状ランプは蛍光管の谷間にホルダ内側のプラグがはまりランプを回します。ランプを締め過ぎてもプラグが乗り越える構造なので破損させる危険はありません。

4. 柱状ホルダの最大外径はランプ樹脂の外径と同様なので少スペース器具や複数配列ランプの器具にも可能です。

<装着断面>

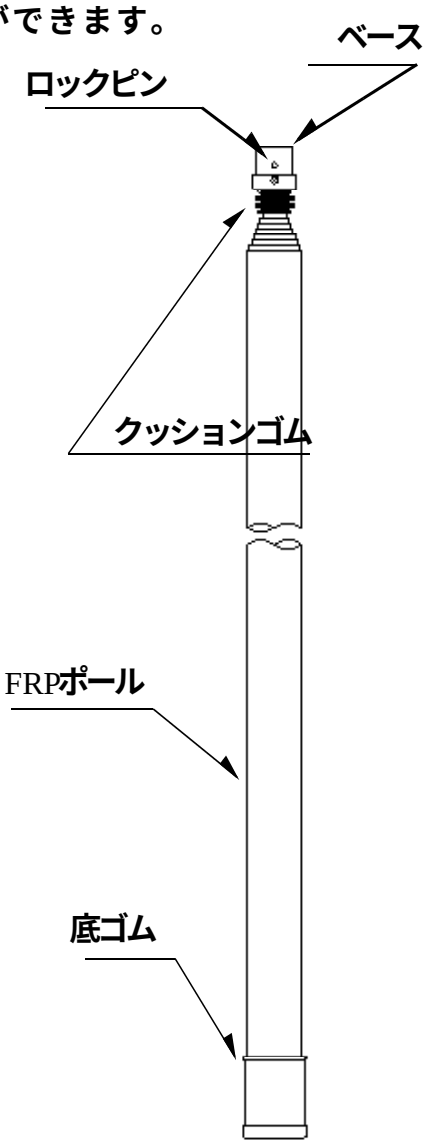
<挿入方向>

コンパクト形・電球形蛍光灯ランプ
交換器ホルダの取扱説明

型式EFD、FDL、FHT、FHHランプの交換ホルダについて説明いたします。

掲載されているホルダ全ては右下図に示すFRPポールのベースに直接装着して使用できます。（アダプタBS-2は必要ありません）
また、アルミポール（DB4P、DB5P）にも装着して使用することができます。

- 本紙裏面のランプ適合表によりお使いいただくホルダがランプに相当していることをご確認ください。
- 本製品はランプ樹脂部真下の蛍光管部を保持し回転を伝える構造となっております。ホルダがランプ樹脂部に当たるまで確実に差込んで使用してください。
- 交換作業前に新品のランプをホルダに装着し手応えを確認して頂くことをお奨めします。
- ポールは床面に垂直に立て、必要分だけ延ばしていき、ランプに対してもホルダが垂直に挿入されるようポール位置を調整してください。



〔ＥＦＤ-ｓ３３、３５、４０〕

EFD スパイラル発光管専用のホルダです。

＜写真-１＞のように差込んでいきます。ホルダ内面に溝ゴムが貼り付けられており差込時に若干の抵抗はありますが＜写真-２＞の様にゴム先端が樹脂部に当たるまで押込んで下さい。
＜写真-３＞の様に樹脂部をホルダ先端で支えるようにセットして下さい。
スパイラル蛍光管の全長は短く樹脂部が比較的重いため＜写真-４＞の様に蛍光管だけをつかんでしまうとバランスが崩れ落下の原因となりますので注意が必要です。

＜例：９段ポール＞

＜写真-１＞

＜写真-２＞

＜写真-３＞

＜写真-４＞

〔ＥＦＤ-6、ＥＦＤ-8、ＦＤＬ-4、ＦＤＬ-Ｔ、ＦＨＴ-5、Ｔw-4〕

装着断面イメージからわかるようにチューブ内側にφ6～8のプラグが配置されており、
それが蛍光管の間に収まり回転を伝えるものです。

PCプラグ

＜装着断面イメージ＞

１．ランプにホルダを挿入する際、当たった感触がしたら押し当てたまま、左右どちらかにゆっくりと回しますとランプ間の溝と一致しスムーズに挿入されます。

２．＜写真A＞のように挿入されることが望ましいですが力加減で＜写真B＞のように挿入される場合もありますが、蛍光管を破損させることなく乗り越えれる構造となっております。

＜写真A＞　＜写真B＞

3．前項で記述してますが、蛍光管は樹脂部真下が強度上、有利な位置であるため＜装着イメージ＞のようにチューブ先端のPCプラグが樹脂部に当たるまで差込んでご使用ください。

4．ランプ着脱時に必要以上の回転力が加わった場合は開放スロットを設けてますのでPCプラグがランプ間の溝を乗越えて破損を避ける構造となっております。

スロット

＜装着イメージ＞

※FDL、FHTのランプで差込み式の器具には使用できません。
約２０度の回転で着脱可能となっている器具で、方向性がありますので、ホルダに貼ってありますステッカーを目印に取外し時同様の配置でランプを納めてください。

(保証期間／製造月より１年間)

製品の規格･デザイン等は改善のため予告なく変更する場合があります

製造販売元　**北洋無線株式会社**
本社・工場　〒085-0026
北海道釧路市寿３丁目４番２６号

TEL：0154-22-8181
FAX：0154-25-1489
E-mail：lampchanger@hokuyo-musen.co.jp